

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	33° 10′ 28.43″ 132° 37′ 34.86″	橋梁ID
若葉橋 (フリガナ)ワカバハシ	口屋内宇和島線	四万十市西土佐奥屋内				33.17456,132.62635
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
高知県四万十市	2021.2.5	河川	無	一般道	その他	無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

(有)アイコンサルタント 溝渕安彦

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	径間1 主桁01 写真番号1		
	横桁	Ⅱ	腐食	径間1 横桁01 写真番号2		
	床版	Ⅰ				
下部構造	Ⅲ	洗掘	径間1 下部工02 写真番号3,4			
支承部	Ⅱ	腐食	径間1 支承102 写真番号5			
その他	Ⅱ	路面の凹凸	径間1 路面 写真番号6,7			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	下部工に広範囲の洗掘が見られるため、洗掘対策工等を行う必要がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1971年	20m	5m
橋梁形式		
単純鋼H桁橋		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁01)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(横桁01)【判定区分: Ⅱ】
写真番号1  径間1 主桁01 腐食	写真番号2  径間1 横桁01 腐食
下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅲ】	下部構造(下部工02)【判定区分: Ⅲ】
写真番号3  径間1 下部工02 洗掘	写真番号4  径間1 下部工02 洗掘